

## 日本ユネスコ協会連盟会長に松田氏就任

このたび、6月2日(金)岩手県花巻市で開催された第443回理事会において、当協会連盟の会長交代が承認され、新会長に前副会長の松田昌士(まさたけ)(東日本旅客鉄道株式会社相談役)が就任いたしました。前会長児島仁(日本電信電話株式会社特別顧問)より「2000年の会長就任以来、6年間にわたる在任期間のさまざまな思い出を懐かしむと同時に、今後もユネスコの一員として努力する」との退任の挨拶が述べられた後、新会長より「児島前会長の方針を受け継ぎ民間ユネスコ運動の発展に全力を尽くしたい。かつて学生時代に熱い想いで参加したユネスコ活動に再び参加する事に大きな喜びを感じている」との力強い抱負が語られました。

日本ユネスコ協会連盟は、今後も「心の中に平和のとりでを築く」というユネスコ憲章前文の理念に則り、民間ユネスコ運動を展開してまいります。引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当協会連盟役員の詳細はこちら

<http://www.unesco.jp/contents/about/nfuajorg.html>

また、翌6月3日(土)・4日(日)、岩手県ユネスコ連絡協議会、花巻ユネスコ協会との共催で、「考えていますか となりのひとを ~平和と共生の明日に向かって~」をテーマに「第62回日本ユネスコ運動全国大会(岩手大会) in 花巻」を開催しました。

今大会の出席者は、海外からの参加者を含め、総勢1013名。前国際日本文化研究センター所長の山折哲雄氏より「文明の共存を考える」という演題で基調講演をいただき、「平和と共生の明日に向かって、そして国際理解」のテーマのもと、山折氏をコーディネーターに、米田伸次日本国際理解教育学会会長、王敏(わんみん)法政大学教授、児島仁前日本ユネスコ協会連盟会長らによるパネルディスカッションが行われました。レセプション後は、青年の集い「おでんせ ユネスキャン」が開催されました。

大会2日目には、「すべての人に教育を」「世界遺産と地域遺産」「非戦 先人が求めた世界」「伸びようユネスキャン」と題した各分科会が行われ、各会場とも100名~200名が集うなか、更なる民間ユネスコ運動のあり方を含めた議論が展開されました。

なお、同大会については機関誌ユネスコ7月号(7月半ば発行)に掲載予定です。

これまでの日本ユネスコ運動全国大会のテーマと開催地はこちら

<http://www.unesco.jp/contents/communication/movement.html>